

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 星の家中央

目標達成計画

作成日: 平成 25年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出機会が少なくなっている。	同じ空間ばかりではなく、違う場所へ行くことで気分転換をしていただく。	<ul style="list-style-type: none">・誕生日外出の実施・公園やスーパー、近くの公民館など外にでる機会をつくる。・少人数での外出の検討を行う。	12ヶ月
2	35	災害時の避難方法の仕方がまだきちんと決定していないので、検討が必要。	災害時に迅速な避難誘導が行えるよう努める。	<ul style="list-style-type: none">・テラス、階段を使つての避難誘導の仕方について最善の方法を検討していく。・なるべく多くの職員に避難訓練を体験してもらい、流れを頭に入れてもらう。・地震や水害の時の対策も話し合う。	12ヶ月
3	1	各ユニットの事務所内に理念を貼っているが、全職員に浸透していない。	全職員が会社の理念を把握しておけるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・意識して理念を読む機会をつくるよう全職員へ声をかけていく。・理念にそつた介護をしていく。	6ヶ月
4	633	身体拘束、看取りのことを勉強する機会をつくる必要がある。	身体拘束、看取りについての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none">・会議で話し合いを行うなど、全職員で考える場を作り、不安なことなど共有していく。・看取りを行っている他GHから情報を提供してもらう。・運営推進会議等において、ご家族の思いや意向などを把握するため、話し合う機会を設ける。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。